ISSN 2185-1921

MCHIKO JOURNAL BEAL ジャーナル 日本における最新の 医療機器情報と トレンドを伝える

2023.7-9

日本の医療機器業界で働く外国人社員に聞く[第2回]

医療を学ぶために英国へ移住、 それがその後の人生に 大きな影響を与えました

アイバン・ンボゴ/ Ivan Mbogo さん

シスメックス株式会社 HUP 事業本部 ヘマトロジー事業推進部 博士(学術)

インタビュー

医療機器の サイバーセキュリティ対応を どのように捉えるべきか考える

~IMDRF ガイダンスの内容と 日本版手引書について~

西川玄希氏

厚生労働省 医薬局 医療機器審査管理課 プログラム医療機器審査管理室 医療機器審査調整官 アイバン・ンボゴ/Ivan Mbogo さん シスメックス株式会社 HUP事業本部 ヘマトロジー事業推進部 博士(学術)



NICHIKO Journal

日本における最新の医療機器 情報とトレンドを伝える

^{Vol.50} No.425 **7-9**

[巻頭言]

会 誌	「日医工ジャーナル」
	Vol.50 No.425 (年 4 回発行)
発 行 日	2023年9月30日
発 行 所	一般社団法人 日本医療機器工業会
	〒 113-0033 東京都文京区本郷 3-39-1
	電話 03-3816-5575 (代)
	FAX 03-3816-5576
編集制作	株式会社デュナミス
広報企画	委員会
委員長	林 正晃
禾 吕	クセ 羊肉 田代 光正 宮田 輝彦

樋口 久人 片岡 佳奈子 価 1,100円(税込価格)〈会員無料〉

100 年の間に世の中の変容は 人々に如何なる「課題」を残したのであろうか					
— 次なる 100 年の為にも考えよう — • • • • • • • • • • • • • • • • • •	02				
松本 謙一 一般社団法人日本医療機器工業会理事長					
[インタビュー]					
医療機器のサイバーセキュリティ対応を					
どのように捉えるべきか考える					
~ IMDRF ガイダンスの内容と日本版手引書について~ • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	03				
西川 玄希 氏 厚生労働省 医薬局 医療機器審査管理課 プログラム医療機器審査管理室 医療機器審査調整官					
第 0.8 同日本医療機器学会十会において					



[インタビュー] 医療機器のサイバーセキュリティ対応を どのように捉えるべきか考える ~ IMDRF ガイダンスの内容と日本版手引書について~ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	03
第 98 回日本医療機器学会大会において 医工連携と SDGs をテーマに副理事長ふたりが座長を務める。。。。	06
日医工/ OMETA共催「日本/中国の医療状況の意見交換会」 日本側、医療機器分野における「中国製造2025」の懸念伝える。	08
レポート/第2回医療用・介護用ロボット研究会 介護用ロボットの現状と今後の展望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
一般社団法人 日本医療機器工業会 2023 年度 定時社員総会議事録 • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	12
[シリーズ] 日本の医療機器業界で働く外国人社員に聞く 第2回 医療を学ぶために英国へ移住、 それがその後の人生に大きな影響を与えました・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
[シリーズ] 日医工創立 50周年を迎えるに当たって 日医工委員会活動レポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
[最先端医療機器を探る] TreMdevice トレンデバイス 手術支援ロボットシステム「Saroa サージカルシステム」 直接的・体感的に手術を行うことを可能にした新技術のロボットシステム・・・・・・ リバーフィールド株式会社	21
会員情報/編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22



シンボルマークについて

最初の文字「J」と最後の文字「I」に位置する二つの球体は、最初に行われる「開発」から機器の性能維 持に不可欠な最後の「メンテナンス」にいたるまでの全工程を意味している。そしてその二つの球を、無 限の可能性を記す「∞」で結び、当工業会の視野の大きさ、工業会会員の幅の広さ、さらに医療機器産業 の限りない希望を示している。色は積極的な活動を象徴するレッド、そして清潔感と調和のとれた理性を 象徴するグリーン。それを全体的に結びつけることで、工業会会員同士の連携や相乗効果も表現している。